第3次江田島市総合計画 25億 基本構想案を市長へ答申

>→ 田島市総合計画審議会(会長:県立広島大学 上水流 久彦教授) は、「第3次江田島市総合計画基本構想案」 について、答申書を明岳市長に提出しました。これまで市 民や若者を対象としたアンケートやワークショップ、事業 者・団体へのヒアリング、小学生に向けた絵画募集などを 通して、市民が考える本市への誇りや魅力、期待する将来 の姿を把握し、全4回にわたる総合計画審議会の中で、10 年間の市のまちづくりの指針となる基本構想について議論 を重ねてきました。その結果、10年後のめざすまちの姿を「豊 かな恵みとぬくもりで みんなが輝き活躍できる えたじま と位置付け、その実現に向け、これからとりまとめる基本 計画・実施計画で具体的な取り組みを検討していきます。

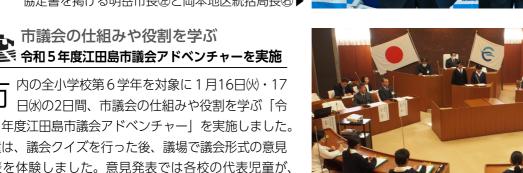


市内郵便局と連携

30% 郵便局と包括的連携に関する協定を締結

市と江田島市内郵便局は、「包括的連携に関する協定」を締結しました。この協定は、本市および郵 便局のそれぞれが有する人的・物的資源を有効に活用し て、市民の生活の向上などを図ることを目的としていま す。協定を締結したことにより、「安心・安全な暮らしの 実現」「地域経済活性化」などに向けて、本市および郵便 局が相互に連携を図り、取組の加速化を目指します。

協定書を掲げる明岳市長定と岡本地区統括局長街▶



▲議場で什組みを学ぶ児童

市議会の仕組みや役割を学ぶ ラスティア 今和5年度江田島市議会アドベンチャーを実施

和5年度江田島市議会アドベンチャー」を実施しました。 児童は、議会クイズを行った後、議場で議会形式の意見 発表を体験しました。意見発表では各校の代表児童が、 「江田島市の魅力を増やすための方策」や「江田島市の 人口減少を止める手立てしなど、江田島市の活性化や管 理・運営に関する意見を発表し、市の職員からの答弁を レにより 市政人の関心を喜めました





闻くこと	こより、 □以への関心を高めました。 ■議場では組めを子が元里
学校名	意見発表
切串小	市のこどもの人口が減っていることについて、市としての考えを教えてほしい。
江田島小	市の魅力を増やすために3点提案する。 ①市 PR イベントを開催すること ②空き家を宿泊施設にすること ③イベントを開催したり公園やプールなどで運動をしたりして、健康に過ごすことのできる施設をつくること
三高小	市の魅力を発信したいと思っている人たちがつながる機会を作り、総合 PR イベントを企画することを提案する。
大古小	市をもっといい島にしていくことで「人口減少」や「空き家が多い」という課題点を解決していく取組につながると考える。そこで3点提案する。 ①市内に道の駅をつくること ②早瀬大橋を塗り直すこと、ライトアップすること ③街灯を増やすこと
中町小	市の魅力を伝えるランドマークをつくることを提案する。 市の魅力を多くの人に伝える取組があれば教えてほしい。
鹿川小	市の人口減少を止める手立てを2点提案する。 「介容き家を人が集まる場所として活用できないか、②市の魅力を伝えるCMや3分程度の広報番組を作れないか」

ひろしま男子駅伝

21回 表彰式に江田島市産のオリーブ冠

田島市から提供したオリーブ冠が天皇杯第29 回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(ひろ しま男子駅伝) の表彰式で使われました。江田島市



▲表彰式でオリーブ冠をかぶる長野県チーム

生き物の動きを人工知能(AI)で解析 2300 ハクセンシオマネキの生命のリズムを体感

→ とうみ科学館で、生き物の動きを人工知能 (AI) ○ で解析し、「生命のリズム」を体感しながら学 ぶことができる展示会とワークショップが開催され、 大古小学校の3年生の児童、大柿中学校と大柿高校の 科学部の生徒が招待されました。このプロジェクト は、「山積する社会課題を解決し、次の世代に誇れる



▲最新鋭の技術を体感する児童

2 / 自分の世界を広く持つことが大切 3曲 令和5年度人権学習講演会

くわくセンター(能美町鹿川)で、俳優・タレ ントとして、幅広く活躍されている副島淳さん をお迎えし、人権学習講演会を開催しました。副島さ んは「いま君のいる場所だけが、世界のすべてじゃない」 をテーマに、自らの人生を振り返りながら違いを知り 自分の世界を広く持つことの大切さを語られました。

講演する副島淳さん

で栽培したオリーブの枝を編んだ冠が1月21日(日) に開催された「ひろしま男子駅伝」において優勝し た長野県チームに贈られました。ボランティアによ り作製された冠で、江田島市のオリーブを広くPR することができ、大会に華を添えることができました。



▲オリーブ冠作成の様子

広島を目指すこと」を目的とした県の事業に採択さ れ、phenomena box project、関西大学、さとう み科学館が連携し、実施しました。江田島市に生息 し、さとうみ科学館のマスコットキャラクターでも ある「ハクセンシオマネキ」の求愛行動(ハサミを 振り、ダンスに見える動き)をAIで解析し、映像と 音楽を組み合わせた3Dマッピングを児童および生 徒は楽しく体感しました。



▲盛り上がるワークショップ



(15) 広報えたじま 令和6年3月